

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスくれよん		公表日		R7年3月11日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・子どもたちがいる部屋毎に指導員が配置されており、協力できる環境作りを行っております。	・学習室やプレイルームなど、用途、人数に合わせて活動できるように部屋を分けるなど工夫をしていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・様々な方を受け入れられるよう、送迎などのスタッフも確保しています。 ・職員配置以上の配置で対応しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・学習ルーム・プレイルームなど、目的に合った区画整理がされています。また、玄関と道路の間にスロープをつけるなど、環境にも配慮しています。	・利用者の特性を意識した形で、個々の活動に合わせた配置を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日清掃活動をし、その日の気温に配慮した空調管理を行っております。	・個別、集団活動など活動場面に合わせた環境設定を作るようにしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・必要があれば、クールダウンの目的でカームを使用することができます。	・部屋数は限られているので、その場面で必要となった際は、部屋を個別で使えるよう環境設備に努めています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・定期的に会議や朝礼を行い、情報共有を行っております。	・指導員各々のいい所を評価し、業務が滞っている部分は意見を出し合い、改善策を検討しています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・評価表などの意見を把握し、対応するようにしています。	・アンケート調査の結果は事業所の玄関にも掲示しており、誰でも閲覧できるようにしています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・管理者が話を聞き、改善に向けて取り組んでいます。ラインやハグの入力の際、情報共有と共に意見を出し合い、改善に努めています。	・会議もしくは面談にて、改善に取り組んでいます。更に児童指導員同士が意見できる形を整えています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者評価は受けていません。	・第三者による外部評価は現在行っていませんが、今後必要に応じて実施を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・定期的に研修が行われており、参加する機会があります。	・定期的に行う会議の中で研修を行っています。また、外部の研修にも参加し、報告会を行っています。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・ホームページで公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・日々の支援や保護者の方、相談支援委員等の情報なども含めてニーズや課題を分析し、計画作成を行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・指導員全体で共有し、検討しています。	・日々の支援の中でも共通理解を深めることで、さらなる利用者への支援の改善を目指します。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援について指導員同士で話し合い、共有しながら行っています。	・支援の内容についても確認しながら行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・保護者の方や相談員の方からいただく情報と、日々の活動などから状況を把握するように努めています。	・本人の状況や保護者、相談員、他事業所の情報などからアセスメントしています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・今年度より5領域を全利用者の支援内容に盛り込んで計画を作成しています。 ・家族支援、移行支援などは家族の意向や年齢などに合わせて設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・指導員それぞれの得意分野で分担しながら、活動を行っています。 ・活動内容は、職員間で話し合い、他児との関係、人数や環境等を考慮した上で行っております。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・前回の活動を確認しながら個々に対応し、様々な支援方法を計画しています。	・集団のプログラムもやっているが、参加が難しい利用者が数いるため、バリエーションを増やしていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	・小集団での活動を中心に進めながら、個別での活動も取り入れ、個々の状況に合わせて取りこんでいます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・朝礼でその日の流れや役割分担などについて確認しており、支援についての内容共有を行っています。	・担当表を作成し、役割分担を行って、職員全体で把握できるようにしています。児童の支援記録の確認を徹底しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・その日出勤した職員が集まり、一日の出来事の共有を行っています。 ・互いに気付いた点は、職員間の共通連絡ラインを用いて、全体に発信・把握しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・記録をとったものをいつでも見返せるようにしています。	・個別支援経過記録を利用し、支援の検証・改善に役立て、見直していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・保護者や関係機関と面談を行い、課題や改善策を話しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○	・決められた一定期間のサイクルで支援を行っています。また、よりよい支援が行えるよう努めています。	・ガイドラインを職員全体に読み合わせ、活動内容など検討、支援を行っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	・選択遊びを活動の中に設けており、自ら選択できる機会を設けています。	・選択肢を増やす、ルールとセットで学べるような工夫を検討していきます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・関わる機会を持つ指導員も会議に参加し、来所時の様子などを細かく説明することが出来ています。	・担当職員に限らず、状況が理解できるようにしていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・いとう内科クリニック、児童相談所、颯の架け橋と連携しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	・学校の行事予定表等や、連絡調整等を保護者・担任教諭に協力、情報提供を依頼し、対応しています。	・都度、情報共有・関係機関との連携を図っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	・新規利用時の担当者会議にて、本人の様子を伺ったり、移行シートを頂き、情報共有に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	・本人の課題点などを移行先に伝えていきます。	・保護者や支援相談員等を通し、これまでの支援内容・活動状況などの情報を提供しています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	・研修に積極的に参加しています。 ・専門機関による公開講座に参加する等、助言を受ける機会があります。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	・地域の公園で遊ぶなど交流を持つ機会を心掛けている。	・年齢に合わせて地域のお祭りへの出店、参加をこれからも続けていきます。また、他の放デイとの交流も継続して行っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	・研修等に積極的に参加しています。	・職員全員が協議会等参加していくよう、努めます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・その日一日の様子を文章や画像で伝えたり、送迎時に直接伝えるなどして、共有を行っています。	・一つの発達課題シートを指針に適宜アセスメントを実施しながら、子どもの発達状況について共通理解をしていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	・ライン連絡等を通して、質問等にも助言・支援を行っています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・契約の際など、管理者・児童発達支援管理責任者により説明を行い、変更などがあった際には、都度通知・説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・契約における面談などで、意向について話を聞くようにし、サービス等利用計画を基に作成しています。	・より分かりやすく配慮できるように考えていきます。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・支援内容が説明された書類を保護者へ提示しています。	・視覚的・言語的にも分かるように提示していきたいです。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・相談を受けた内容についてどう支援するのか話し合い、それに添った支援を行っています。	・必要に応じて面談を行っています。外部研修などの参加により、職員のスキルアップを図っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者同士の交流も含め、令和6年度には親子イベント、ペアレントトレーニングを含めた茶話会、餅つき大会を実施しました。	・今後も定期的に計画し、保護者の方々、職員間の情報交換、連携親睦を図っていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情窓口を設置しています。重要事項説明書に記載し、契約の際など・説明しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・保護者に定期的に配布物を配り、ホームページでも予定など公表しています。	・避難訓練やイベントなどの行事予定は、くれよん通信などのお便りを通じて、事前に発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・シュレッダーなどを使用し、廃棄の際も気を付けています。外部への持ち出しがないよう管理しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・保護者や関係機関との面談等にて本人の状況や課題などを話し合う場を設けています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・秋祭りやくれよん朝市等事業所の行事はもちろん、桜まつり等地域の祭りへも積極的に参加し、近隣の方への参加も呼び掛けています。	・今後、避難訓練や野外活動、フリーマーケットなどのイベントなどにも近隣の方の参加を呼び掛けていきたいです。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・委員会の設置と定期的な会議の開催、マニュアルの見直しを行っています。 ・職員には研修・会議などにて周知し、保護者の方々には契約の際などに、詳しく説明しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・マニュアルを作成し、定期的な避難訓練にて訓練を実施しています。 ・月に一度、避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・保護者の方とのやりとりで、発作や投薬の情報を職員間で共有を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者からの聞き取り、情報共有に努めています。	・アセスメントシートに詳しく記載を依頼し、状況を個別に把握しており、クッキング等の活動時には個々への対応など配慮しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・研修、訓練が行われています。	・今後も続けていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・ヒヤリハットが出た際は毎日の朝礼で報告を行い、再発防止に向けて話し合い、検討しています。	・保護者行事等でも話す機会を作りたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・朝礼などでその起こったことを話し、なぜ起こったのか、防ぐにはどうしたらよいかを検討し、書面に残して共有しています。	・職員にて情報共有し、予防できるよう周知、徹底していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・定期的に委員会を開催しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・契約時約かんとして書類を渡しています。常に寄り添える支援を目指しています。 ・(部屋からの飛び出し、自傷行為、他社へ危害を加える可能性がある場合など)子どもの命にかかわる場合であることを保護者の方々に十分に説明を行い、同意を得て、個別支援計画に記載しています。	